

正直に行動したときの気持ちについて考えてみましょう。

- ・うそをついて怒られたことがあるので、正直でいたい。
- ・うそをつくともやもやしていい気持ちにならない。

実態

- 8人中3人が「道徳が好き」と回答。
- 叱られないために嘘をつく経験をしたことがある。
- 正直に話せた経験があるのは半分

ねらい

★きこりの気持ちを考えるを通して、正直に生きることのよさや難しさに気づき、うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。

みつばち

いつも正直に

(A 正直、誠実)



金のおの

工夫

- ・教材を理解しやすくするための工夫
→朗読に合わせ紙芝居をする。
- ・役割演技
→登場人物に自我関与することで気持ちを考えやすくする。
- ・意見の視覚化
→自分の行動について示す活動

ぬまにおのを落としてしまったとき、きこりはどんな気持ちになったでしょう。

まだ宿題をやっていないのに、ゲームをしていて「宿題をやったか」聞かれたら、うそをつく？つかない？

悲しい

どうしよう

大切なおのなのに



マグネットで
立場を明確にする



協議会を通して学んだこと

- ・教材提示…具体物があることで意欲的に学習に取り組むことができていた。「動画再生」のマークで子どもの身近なもので興味を引くことができた。
- ・吹き出し…役割演技で、吹き出しがあることによりなりきって登場人物の気持ちになって考えることができた。
- ・役割演技……言葉で伝えるのが難しい実態だからこそ、動きから気持ちをくみとることができる。
- ・支援の手立て……指導案に、児童の普段の道徳授業の様子と支援の手立てがあることで児童の実態が分かりやすい。